

しもかわ今昔物語～下川鉱山と国有林～

上川北部森林管理署が所在する下川町は、北海道北部に位置する自然豊かな町で、町の約90%を森林が占めています。林業や農業とともに発展し、循環型森林経営や木質バイオマス活用など持続可能なまちづくりをすすめる「森林未来都市」として知られています。林業の町として知られていますが、かつては2つの鉱山があった「鉱業のまち」であったことはあまり知られていません。今回はそのうちの一つである「下川鉱山」と国有林との関りについて見ていきたいと思ひます。

そもそも下川鉱山ってな～に??

下川鉱山は、1933年に鉱石が発見され、1941年から本格的な開発が始まり、森林鉄道や索道の整備が進められ、鉱山を中心に学校や診療所、郵便局などが設置されるなど、一つの地域コミュニティが形成されました。1950年代以降は生産規模を拡大し、1974年には月産3万3千トン、従業員580人を抱えるまでに発展し、下川町の経済や暮らしを支える存在となりました。しかし、銅価格の低迷などにより縮小が進み、1982年に採鉱を終了。1983年には休山式が行われ、長い歴史に幕を下ろしました。下川鉱山の歩みは、今も地域の発展を支えた大切な歴史として受け継がれています。

今では町民の手によって立派に成林

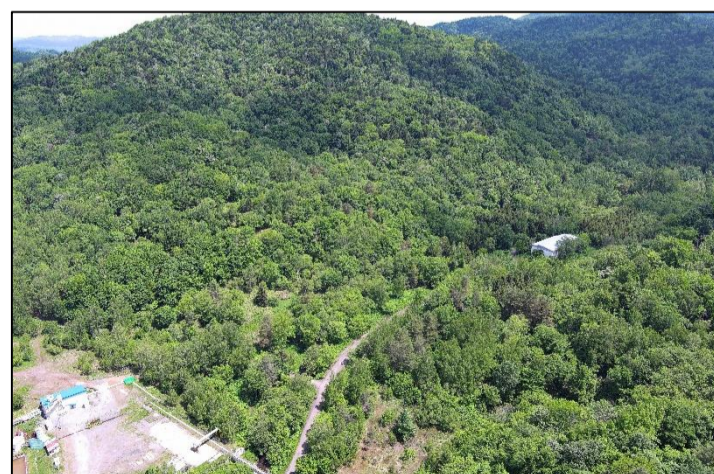
かつて採掘でにぎわった下川鉱山の多くの住宅跡地は国有林であり、鉱山が休山後は、町民が力を合わせて植林を行い、長い年月をかけて森を育ててきました。また、苗木を植えるだけでなく、下草刈りや除伐、枝打ちなど、木が健やかに成長するための手入れを続け、現在は、豊かな森林へと再生しています。現在もこの取り組みは受け継がれ、町民や来訪者が気軽に参加できる林業体験ツアーを当署主催で、毎年10月頃に開催し、枝打ち体験などを通して、森づくりの大切さや林業の魅力を楽しく学べる機会となっています。



昨年の林業体験ツアー（集合写真）



国土地理院地図引用



1970年代の珊瑚鉱山（左）と現在（右）

北海道森林管理局 Instagram も開設!



写真コメントも
ぜひ！みんな「いいね」してね

<上川北部森林管理署>

北海道上川郡下川町緑町21番地4

☎ 01655-4-2551

<北海道森林管理局 HP>

北の森漫画も公開中!

